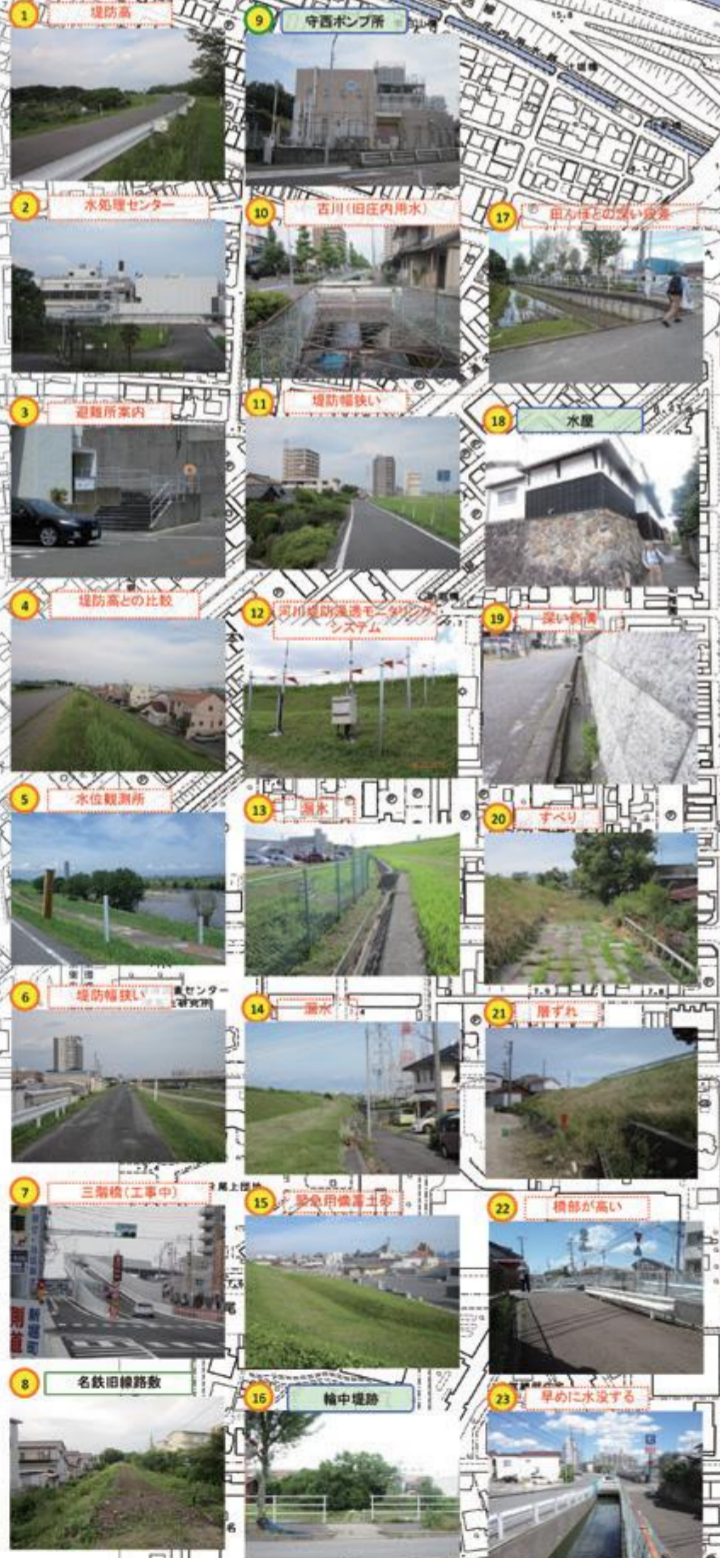


※この地域は「重要水防所」として「堤防高」「堤防断面」「法削れ・すべり」において水防上重要な区間とされています。
 (平成29年5月時点)
 詳細は国土交通省庄内川河川事務所HP参照
<http://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/bousai/suibou/>

- 伝説
- 避難所
 - 一時避難所
 - 水が早めに流れる場所
 - 水が流れ込む場所
 - フタの無い排水溝
 - 避難所
 - 避難所
 - 標高(メートル)
 - 8.5
 - その他危険箇所



注意点

- 冠水時、田畑と道路の境界の不明箇所多数
- 避難所の瀬古小は標高が低いため避難所としては疑問
- 避難の基本は住宅2階以上
- 避難時用水路や田んぼと接している道路は避ける
- 川西地区は緑化地域で高さ10m以上の建物を建てられない
- 輪中堤があったようにこの地区は低地であった
- 洪水ハザードマップでは浸水深さ5m程度であり、早めの避難が必要
- 東海豪雨による内水氾濫は1~2m程度であった

今後の課題

【私たちの課題・心構え】

- 避難所が近くにない
- 一時避難所の拡充、候補建物の管理者との交渉
- 庄内川が決壊した場合、この地域は逃げ場がないので、早めの判断で広域避難ができるように自衛から心がけておく
- 用水があふれて、側溝から住宅へ流れてくる事が心配
- メグミルク、東西住宅を一時避難所としてお願いする
- 工場の外にあるバレット等を片付けてほしい(流出危険)
- 避難場所、避難路を各自で確認する
- 地元企業に駐車場など借りられないか協力を求める

【行政との話し合い必要】

- 広域避難が必要な場合に三階棟を一方通行に欲しい
- 広域避難が必要な場合に上飯田地区に避難場所を確保して欲しい
- 水が溢れる場所は毎回同じなので排水の見直しを
- フタのない側溝にフタをして欲しい
- 避難場所をわかりやすくして欲しい
- 瀬古会館を3階建てに
- 非常時の広報車の活動をわかりやすく
- 新堀ポンプ場の能力向上を
- 避難場所として、自衛隊、生涯学習センター、守山中学校など検討して欲しい
- 瀬古学区は名古屋市でも特殊で、庄内川決壊に対して非常に弱い地域。高台を設けるなどの特別な措置をお願いしたい。

地震発生！震災時の対応

揺れた

- 身の安全の確保
 - ・頭を守り揺れがおさまるまで待つ
 - ・安全に消せる場合は火を消す
 - ・家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意

丈夫な机がない時は、クッション、かばん、ナベなど身近にあるもので頭を守りましょう

安全にすばやい避難行動をとるためにも、**自宅の耐震化や家具の転倒防止対策**を日頃からしっかり進めておきましょう。

揺れがおさまった

- 怪我をしないように靴やスリッパをはく
- 家族の安否・家屋の被害状況の確認
- 出入口の確保
- テレビ・ラジオやスマートフォンなどからの正しい情報の入手
- 非常持ち出し品の準備

地域には、町内会・自治会単位に結成された自主防災組織があり、災害時に初期消火・救出救護等の活動を行います。地域の被害を小さくするため、自主防災組織の活動にご協力をお願いします。

土砂災害からの避難

- 避難所など、安全な場所に避難
- 緊急時は鉄筋コンクリートの建物に避難
- 木造家屋の場合は、かけ斜面からできるだけ速い部屋へ

災害の危険解消

自宅での滞在が可能か

自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活を!

避難所は、不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋倒壊などの危険がない場合は自宅で避難生活を続ける「在宅避難」を考えましょう。その際は、下記のことを心がけましょう。

- 高齢者や障害のある方などが取り残されていないか確認しよう!
- 周囲に自宅避難を知らせよう!
- 周囲で声かけし、食料や物資を分け合おう!

避難先へ安全に避難するための6つのポイント

- ①ガス・水道の元栓を閉め、ブレーカーを切る!
- ②近所への声かけ!
- ③高齢者や障害のある方などの避難誘導を!
- ④原則徒歩で! (渋滞抑止・高齢者や障害のある方などの避難を妨げない)
- ⑤木造住宅密集地やがけ地は避け、川の近くへ行く時は注意を!
- ⑥二次災害に気をつけながら消火・人命救助の手伝いを!

台風や大雨が接近！風水害時の対応

雨が降ってきた

①自ら情報を入手する
テレビやラジオ、パソコン、スマートフォンなどで気象情報や市からの情報に注意する

雨足が強まってきた (警報の発表)

②避難の準備
引き続き、TVやラジオなどで情報を入手する
懐中電灯や杖(棒)など避難に必要な準備をする
近隣に一人暮らしの高齢者などがいたら声かけをする
(道路が冠水している時に河川のはん濇が予想され、やむを得ず避難しなければならないときは)

避難の開始 (避難勧告等の発令)

先頭の人は、棒で探りながら歩く
マンホール
道路の真ん中と端は通らない

内水はん濇

下水道などの排水機能を超える大雨が降った場合など
自宅や近くの建物の2階以上へ避難

洪水(河川のはん濇)

長時間の大雨で川の水位が上がり堤防が決壊する可能性がある場合
3階以上の鉄筋コンクリートの建物に早めに避難

守山区瀬古学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、名古屋市中でも比較的強い震度6強ないし震度6弱の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、建物の耐震化や家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。揺れがおさまった後、自宅が被害を受けたかまたは受けるおそれがある場合は適切な避難を行いましょう。また、液状化現象が起きる可能性が高い箇所もいくつかありますので、建物が傾いたり、道路の一部が沈んだり、泥水が溢れ出したりして通れなくなる可能性もふまえて、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。瀬古学区は、庄内川と矢田川の合流地点に位置し、両河川に挟まれた古くは輪中が発達した地域です。そのため、現在でも川の水位より土地が低く、ひとたび洪水が起こると、広い範囲で3~4m以上の浸水被害が想定されています。普段から大雨時の情報収集や避難方法などを確認しておき、万が一堤防が決壊しそうなどときには、いち早く避難行動が取れるようにしておきましょう。

一人では逃げるのが難しい方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障害のある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げるのが難しい方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

●例えばこんな方 目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障害のある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

●対応方法 やさしい言葉でゆっくり声かけ
メモや、身振り手振りで伝える

移動が難しい方

●例えばこんな方 普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

●対応方法 複数で手伝う
身近にあるものを利用する

避難の時の豆知識 非常持ち出し袋を準備しましょう!

日頃から水や食料を準備しておきましょう。めがね・入れ歯・持病の薬も忘れずに!

避難する時に持っていくもの					
■ 防災用品 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> マスク ■ 照明等 <input type="checkbox"/> 懐中電灯(電池含む) <input type="checkbox"/> マッチ・ライター	■ 貴重品 <input type="checkbox"/> 現金(小銭も必要) <input type="checkbox"/> 預(貯)金通帳の写し <input type="checkbox"/> 健康保険証・免許証の写し <input type="checkbox"/> カード類 <input type="checkbox"/> 認印・印鑑など	■ 医療用品 <input type="checkbox"/> 三角せん <input type="checkbox"/> 包帯・ガーゼ <input type="checkbox"/> ばんそうこう <input type="checkbox"/> 消毒薬 <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ(ティッシュ) <input type="checkbox"/> お薬手帳の写し	■ 食器類 <input type="checkbox"/> はし・スプーン <input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ ■ 衣料品 <input type="checkbox"/> 衣料(着替え) <input type="checkbox"/> タオル(大小2種類)	■ 便利用品 <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 携帯用トイレ <input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> キッチン用ラップ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 手動携帯電話充電器	■ その他 (個人的に必要なもの) <input type="checkbox"/> 粉ミルク <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 予備のメガネ・補聴器など ゴミ袋をカッパに 新聞を体にまいて防寒 ラップをお皿にしいて節水

我が家の防災メモ

災害発生時に、必ずしも家族が一緒にいるとは限りません。家族の連絡の手段や集合場所をきちんと決めておきましょう。

○太枠内に書き込みましょう。

項目	名称	所在地	電話番号
我が家の避難場所			
家族の名前	連絡先	電話番号	メモ

災害時連絡先 情報入手先一覧

守山区役所(区本部)	793-3434(代表) 796-4511~6(ダイヤルイン)
守山消防署	791-0119
守山土木事務所	793-8531
東部管路センター(下水道)	721-2275
中部電力旭東営業所	0120-985-717
東邦ガス北営業所	902-1111
NTT西日本	113
守山営業所(水道)	791-6311

もしもの時の連絡方法

「災害用伝言ダイヤル171」の活用

大規模災害発生時に家族の安否等の情報を電話で伝言として保存したり、再生することのできるNTTが行うサービスです。

伝言の録音方法	伝言の再生方法
171 にダイヤルする ガイダンスが流れます	171 にダイヤルする ガイダンスが流れます
録音の場合① ガイダンスが流れます	再生の場合② ガイダンスが流れます

体験できる日
●毎月1日及び15日(1月は1日~3日)
●防災週間(8月30日~9月5日)
●防災とボランティア週間(1月15日~21日)

「災害用伝言板サービス」の活用

大規模災害発生時に家族の安否等の情報を携帯電話を使って文字で登録したり、確認することができるサービスです。お問い合わせは携帯電話各社まで。